

●共産主義者同盟……………58年=通称・第一次フント

- 機関誌『共産主義』第1号～7号(1959～1960・リベラシオン社)
 機関紙「戦旗」第1号～53号(1960～1961・世界労働運動研究所)
 機関紙「プロレタリア革命」第1号～(共産同東大細胞 1959)
 機関紙「プロレタリアの旗」第1号～(共産同名古屋市委員会 1960～1961)
 機関紙「情勢」第1号～(共産同新潟地区委員会 1960)
 機関紙「共産主義通信」第1号(共産同北海道委員会 1960)
 機関紙「鉄鎖を砕け！」NO1～(共産同神戸地区委員会 1960)
 機関紙「鉄鎖を砕け」創刊号(新しいサイは投げられた!)～(共産同京大学生細胞 1959～)
 機関紙「紙の爆弾」(小さな旗揚 創立宣言)創刊号～(共産同同志社細胞 1959～)
 機関紙「繊維労働者」創刊号～(共産同京都繊維細胞 1960～)
 機関紙「変革の論理」第1号～(共産同京大学生細胞宇治班 1960～)

●日本反戦学生同盟全国準備委員会……………51年・全国準備委員会代表一山中 明

- 機関紙「平和の戦士」第1号～
 機関紙「反戦旗」NO1～NO3(日本反戦学生同盟全国準備委員会)
 機関紙「反戦旗情報」NO0～NO0
 機関紙「よりよき未来のために(仮称)」創刊号～(反戦学生同盟早大準備会)
 機関紙「反学同ニュース」…………(東京都反戦学生同盟早大支部)

●日本反戦学生同盟全国執行委員会……………55年

- 機関紙「反戦旗情報」NO0～NO66(～1955)
 機関紙「平和のために」(「反戦旗情報」67号 1955)～

●日本反戦学生同盟……………56年・委員長一中村光男・書記長一清水丈夫

- 機関誌『反戦旗情報』復刊第1号～4号(1957～1958・日本反戦学生同盟全国執行委員会)
 『日本反戦学生同盟 第二回全国大会 報告決定集』(日本反戦学生同盟全国執行委員会 1957)
 『日本反戦学生同盟 第三回全国大会報告決定集』(日本反戦学生同盟全国執行委員会 1958)

●日本社会主義学生同盟……………58年・委員長一中村光男・反戦学生同盟第四回大会で改組

- 機関誌『社会主義と青年』創刊号(全国執行委員会書記局 1958)
 機関誌『理論戦線』第1号～5号(1958～1960・リベラシオン社)
 中央機関紙『社会主義の旗』創刊号～(1958)
 機関紙『書記局通達』(1958～)
 機関紙「フペリョード 前進」第1号～(社学同都委員会 1959)
 機関紙「解放のために」(社学同埼大支部 1958)
 機関紙「社会主義のために」(社学同立命大支部 1958)
 機関紙「社研通信」第1号・2号(北海道大学社会科学研究会 1960)
 機関紙「プロレタリア革命」NO1(社学同北海道委員会 1959)
 機関紙「導火線」創刊号～NO10(社学同北大支部 1958～1960)

機関紙「委員会通信」NO1(社学同北大支部 1960)

『日本社会主義学生同盟 第一回全国大会(日本反戦学生同盟第四回全国大会)報告決定集』

(日本社会主義学生同盟全国執行委員会 1958)

『日本社会主義学生同盟 第三回全国大会報告決定集』(日本社会主義学生同盟全国執行委員会 1958)

●**日本社会主義学生同盟高校部**……………

機関誌『若き社会主義者』第1号～

●**安保改定阻止高校生会議(議長一鈴木達夫)**……………

●**社会主義青年労働者同盟(社青労同)59年**… 森田 実・小島弘・小野寺正臣・古賀康正

機関誌『労働戦線』第1～2号(1959～1959・リベラシオン社)

機関紙「青年労働者」第1号～〇号(リベラシオン社)

機関紙「若きボルシェヴィキ」第1号・2号(社青労同中労支部 1960)

『全通三重闘争の経過と教訓』(社会主義青年労働者同盟東海地方委員会 1959)

●**全日本青年教師集団**……………**59年**・村田栄一

機関誌『教育労働者』第1号～6号(1959～1960・リベラシオン社)

●**社会主義婦人協会(社婦協)**…………… 島 博子・今井添子

●**日本共産党東京大学学生細胞**……………**56年**

機関誌『マルクス・レーニン主義』(第1号～3号)第4号～11号(1956～1958)

●**全日本学生自治会総連合(全学連)**……………**48年**・委員長一武井昭夫

機関誌『全学連通信』第1号～31号終刊(1955～1957)

『全学連通信 写真号外“砂川闘争の記録”』(全学連書記局 1957)

機関紙「平和と独立のために」第1号～4号終刊(1950)

機関紙「日本学生新聞」第5号～8号(1950～)

機関紙「学生新聞」第1号～〇号

『学生運動』(全学連書記局編 1948)

●**全日本学生自治会総連合(全学連)・59年第一四四～一六四大会**一委員長・唐牛健太郎

機関誌『闘う全学連』第1号・2号(60年・リベラシオン社)

機関紙「全学連通信」第1号～〇号・「6・15闘争緊急特別号」～(全学連情宣局)

『勤評闘争の前進のために 勤評反対闘争史』(全学連情宣部 1958)

『日本共産党の危機と学生運動 全学連意見書』(香山健一…1959)

『安保闘争—その本質と人民の闘い』(全学連情宣部編・第三出版社 1959)

『装甲車と青春—全学連学生の手記』(現代思潮社 1960)

●**労働運動研究会**……………**森田 実60年**

機関紙「週刊労働運動」創刊号～(労働運動研究会)

『ブント(共産主義者同盟)の思想 共産主義』第1巻(批評社 1992)

『ブント(共産主義者同盟)の思想 反戦旗情報・理論戦線』第2巻(批評社 1996)

『ブント(共産主義者同盟)の思想 労働戦線・教育労働者』第3巻(批評社 1990)

『ブント(共産主義者同盟)の思想 プロレタリア通信・書記局通達』第4巻(批評社 1992)

『ブント(共産主義者同盟)の思想 マルクス・レーニン主義』第5巻(批評社 1994)

『ブント(共産主義者同盟)の思想 灰とダイヤモンド 北海道地方委員会編』第6巻(批評社 1990)

『ブント(共産主義者同盟)の思想 戦旗』第7巻(批評社 1999)

『ブント(共産主義者同盟)の思想 戦後史の証言ブント』別巻(島成郎他・批評社 1999)

『ブント私史』(島成郎・批評社 1999)

『ブント私史』(増補改訂版・島成郎+島ひろ子・批評社 2010)

『革命論争資料集』(戦旗編集局編・世界労働運動研究所 1960・『未完の意志—』鹿砦社 1985 収録)

『全世界を獲得するために・共産主義者同盟文献集』1・2・3(大阪大学新聞会出版部 1965)

『日本の学生運動—その思想と行動』(門松暁鐘・中村光男・伴野文夫 1956)

『日本国家独占資本主義の成立』(姫岡玲治・現代思潮社 1960・現代思潮新社 2010)

『日本共産党史』(田川和夫・現代思潮社 1960)

『世界革命の挫折』(佐久間 元・リベラシオン社 1960)

『革命の挫折-スターリン主義の歴史』(佐久間 元・論争社 1961『世界革命の挫折』再版)

『人しれず微笑む 樺美智子遺稿集』(樺光子編・三一新書 1960)

『友へー樺美智子の手紙』(樺光子編・三一新書 1969)

『人しれず微笑まん 樺同志追悼記念集 六十年安保闘争・樺美智子虐殺二十周年集会』
(樺同志追悼集会実行委員会記念誌編集委員会 1980)

『残さるべき死—茅野寛志遺稿集』(1962)

『ブント書記長 島成郎を読む』(情況出版 2002)

『60年安保とブントを読む』(情況出版 2002)

『戦後左翼の秘密 60年安保世代からの証言』(森田 実・潮文社 1980)

『資料・全世界を獲得するために I』(『季節』特別号 1979)

『〈研究〉第一次共産主義者同盟の思想』(『季節』2号エスエル出版会 1979)

『〈研究〉第一次共産主義者同盟の思想』(『季節』3号エスエル出版会 1980)

『〈研究〉第一次共産主義者同盟の思想』(『季節』5号エスエル出版会 1981)

『現代史における二つの安保闘争の意義』(『季節』6号エスエル出版会 1981)

『敗北における勝利 樺美智子の死から唐牛健太郎の死へ』(エスエル出版会 1985)

『未完の意志 資料六〇年安保闘争と第一次ブント』(エスエル出版会 1985)

『六〇年安保 センチメンタル・ジャーニー』(西部 邁・文藝春秋 1986)

『生田夫妻追悼記念集』(島 成郎他・刊行会・自主出版 1967)

『唐牛健太郎追想集』(唐牛健太郎追想集刊行会・自主出版 1986)

『天籟を聞く 香山健一先生追悼集』(香山健一先生追悼集編集委員会 1998)

『60年安保 6人の証言』(森川友義・編・同時代社 2005)

『人生越境ゲーム 私の履歴書』(青木昌彦・日本経済新聞社 2008)

『わが青春の国際学連(IUS) プラハー九五九〜一九六八』(石井保男・社会評論社 2010)

『革命の革命 守田典彦著作集』(森田典彦著作集刊行委員会・彩流社 2010)

『樺美智子 聖少女伝説』(江刺昭子・文藝春秋 2010)

『神戸ブント 藤本敏夫のうた』(和田喜太郎編・アットワークス 2010)

雑誌『論争』第1号～31号(論争社・大池文雄 1959～1964)

雑誌『現代思想』第1号～7号(現代思想研究会・清水幾太郎・現代思潮社)

雑誌『先駆 Vanguard :an organ of anti-Stalinist Marxism』第1号・2号(先駆社 1961・1962)

(コメント)

①基本文献は、『ブント(共産主義者同盟)の思想』全7巻・別巻(批評社)、雑誌『季節』等に網羅されています。

②第一次共産同、社学同の各地区委員会、大学細胞等の機関誌紙(ピラ)については、不明が多い。

ネット検索でヒットしたのを少し記した。

③「日本社会主義学生同盟高校部」(機関誌『若き社会主義者』NO1)は、『革マル派五十年の軌跡』第1巻に黒田寛一の「社学同高校部の若き同志諸君へ！」文書掲載が記載されている。

社学同左翼反対派系かも知れない。

④「社会主義婦人協会」(社婦協)については、『60年安保 6人の証言』の中で、古賀才子婦人(古賀康正)の発言(P207)が唯一あるだけです。